

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状において評価できる点・課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
住民の平等な利用の確保	共通	利用者の平等な利用が確保されているか、一部の利用者への偏りはないか	情報誌 ホームページ 事業案内チラシ	団体利用、個人利用と、それぞれのルールの中で平等に開放しました。 競技会、スクール、プログラム等については、事前申込み又は当日受付など申込方法はそれぞれ異なるが、多くの市民が参加出来るように、偏った内容とならないよう企画・開催しました。	○	○	○	◎	○	○	<評価できる点> ・幅広い方々向けに多種多様なプログラム、サービスを提供している。 ・利用者の声を反映し、誰もが利用しやすい管理運営に取り組んでいる。 ・プール専用の車椅子や入水マットを用意するなど、安心して利用できる環境整備に努めている。	・より多様な方々・多世代がともに楽しめるプログラム、特に、健常者と障害者がともに楽しめるプログラムや、スポーツが得意な子どもが楽しめるようなプログラムが継続的にあるとよい。 ・LGBTQへの適切な対応の強化に期待。意見収集の工夫を図り、教育委員会や男女共同参画推進センター等と連携しながら、LGBTQの方が過ごしやすい社会づくりにも貢献していただきたい。
	共通	年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが利用しやすいように工夫している（バリアフリー対応等、福祉の視点を持った来館者への対応がなされているか）	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	障害者やLGBTの方への対応等、様々な方に気持ちよく施設を利用していただけるよう、職員研修の実施や市民ニーズの把握等に努めました。 実施事業についても、幅広い年齢層、障害の有無に関係なく参加出来る体制をとっています。	○	◎	○	◎	◎	○		
利用の促進及びサービスの向上に向けた取組	共通	利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供が行われているか。また、施設や事業等の情報について、広報誌以外の多彩な方法で広報を行っているか。	ホームページ 情報誌 事業案内チラシ	施設の利用方法、スクール、プログラムの開催など、情報誌、ホームページ、市報、SNS等を活用し広く周知を行いました。	○	◎	○	○	○	○	<評価できる点> ・苦情・要望に関して、改善可能なものは迅速に対応し、その対応結果をホームページ等で公表する等、丁寧な対応を心掛けている。 ・「ふれあい連絡カード」「事業別アンケート」「利用者満足度調査」での意見・要望等の収集しニーズの把握に努めている。 ・利用者満足度調査では、ここ数年非常に高い評価を得ており、日頃の市民に寄り添った運営の結果が出ていると思われる。 <課題点> ・利用しない方の声を収集することでの不満要素の洗い出しも必要。毎年とは言わずとも10年間で1度は、利用を辞めた方や頻度が下がった方を対象とした調査の実施を検討いただきたい。	・ふれあい連絡カードによる意見収集に対する対応内容等は定期的にホームページ等で発信することも検討していただくよ。 ・指定管理者の努力のみで改善可能な要素（プログラムの内容、接遇など）については、利用者満足度調査における「非常に満足」の割合を一層高めることを目指していただきたい。 ・スポーツ活動やスクール、プログラムに対する利用者の「口コミ」を積極的に活用する策を検討いただきたい。
	共通	利用者の意見・要望を受け止め、施設の管理運営に反映させる仕組みを有しているか。また、利用者の声について、市と適切な情報共有を図り、効果的・効率的な対応手法を市に提案する等、課題解決に向けて適切に対応できているか	総合体育館事業報告書 利用者満足度調査 事業アンケート	「ふれあい連絡カード」による意見・要望等の収集、事業別にアンケートの実施や年1回利用者満足度調査を実施しました。毎月のモニタリング時に窓口や電話等での意見を含め、全て調布市と共有しました。	○	◎	○	○	◎	○		
	共通	利用者アンケートを実施しているか。また、アンケート結果について結果は良好か。併せて、利用者ニーズを踏まえて対応の見直しや工夫など、利用者満足度の向上に向けた取組が行われているか	利用者満足度調査 事業アンケート	利用者満足度調査、事業アンケート等を実施し参加者ニーズの把握を行いました。	○	◎	○	◎	◎	○		・利用者及び事業参加者満足度調査結果から改善すべき点は、「トイレ(体育室、プールともに)」「体育室の風」「プール更衣室の温度」「申込法」と考えられる。

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状において評価できる点・課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
事業計画の内容	共通	施設の管理と事業の運営を一体的に行うことにより、事業の充実が図られ、施設の設置目的が効果的に達成されているか	月間予定表 事業案内チラシ	利用者が少ない曜日、時間帯でのスクール、プログラム等を実施し、貸館事業とのバランスを取りました。	◎	○	○	◎	◎	○	<評価できる点> ・体育協会セブンプログラムの実施等により、幅広い世代がスポーツに親しむ機会を提供している。 ・利用者が少ない曜日、時間帯で事業を実施するなど、施設の効率的かつ有効な活用を図っている。 ・防犯においては館内スタッフによる巡回や貴重品ロッカーの利用案内の徹底により、盗難発生は皆減となった。 ・これまで継続しているプログラム、スクールに十分に満足し、引き続きの活動を望んでいる市民が多いと思われる。この固定的な利用者にも関心を持ってもらえる新規メニューの開発に期待したい。 ・プログラムの開発は長く続いていると、新たな加入希望者が入りづらい雰囲気を感じることがある。全ての利用者及び参加者が疎外感を抱くことがないような指導、対応を心がけていただけるとよい。 ・新しいスポーツ、運動が開発されており市民の興味関心も多様化が進むことが予測される。様々なチャンネルを活用して各年代の要望や他地区の取組等の情報収集にも力を入れることが求められる。 ・他の類似施設における施設の管理運営や実施プログラムについて、定期的な情報収集を行うとよい。 ・最新の栄養学、トレーニング法、心理学等を活用した正しい指導法や指導者の在り方などを学ぶ機会を設定するとともに多くの市民や競技団体等に周知することが求められる。 ・指定管理期間延長に伴う大きなメリットのひとつは、新たな投資や計画的な修繕が可能になることである。市との協議は必要となるが、体育館の周辺などにおいて、都市型スポーツを中心とした施設整備ができることよい（スケボー、バスケットボール、ボルダリング、バルクール、ダンスエリア等のほか、椅子やテーブル等の設置等）。これにより「いつでも誰でも使える、交流拠点のひとつとしての施設」になると考える。 ・今まで以上に他自治体・他類似施設での管理運営・活動情報等の収集や最新のスポーツへの研究を深めるとよい。	
	共通 【せんがわ劇場以外】	企画から実施に長期間を要する新たな事業の実施や、長期的な視点による計画的・段階的な事業展開など、指定管理期間が10年間になったことを踏まえた事業の充実・成熟化が図られ、施設の設置目的が効果的に達成されているか(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	地域コミュニティプログラムとして、地域住民と連携した事業の企画を進めています。現状は新型コロナウイルス感染症による事業実施は出来ていませんが、避難所体験イベント、非常食体験等の実施を計画しています。	○	○	○	○	○	○		
	総合体育館	各世代や障害者など、誰もが生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、楽しむことができる事業・企画に取り組んでいるか	総合体育館事業報告書 事業案内チラシ	体育協会セブンプログラムを核に事業内容の充実を図りました。	◎	◎	○	○	○	○		
	総合体育館	スポーツ・レクリエーションを通して、世代間交流や市民同士が交流がはぐくまれる取組が実施されているか	総合体育館事業報告書 事業案内チラシ	体育協会セブンプログラムを核に事業内容の充実を図りました。	○	◎	○	△	○	△		
	総合体育館	誰もがスポーツ・レクリエーションを通して、健康保持や体力づくりに配慮した取組が実施されているか	総合体育館事業報告書 事業案内チラシ	体育協会セブンプログラムを核に事業内容の充実を図りました。	◎	◎	○	○	○	○		
	総合体育館	共生社会を充実するため、障害者スポーツやLGBTQへの配慮や理解促進及び普及啓発に関する取組が行われているか。	研修資料 関連資料	LGBT研修などを企画実施し、対応時のマニュアル等の整備を行いました。	○	◎	○	○	◎	○		
	総合体育館	事業展開において、実施時期・曜日・時間帯によってターゲットとなる対象を絞った事業を効果的に実施・企画しているか(多様な手法を用いた的確なプロモーションの実施や、従来の手法にとられない質の高いプログラムの提供)。	ホームページ 事業案内チラシ	各プログラムの対象者に合った、曜日・時間帯での企画・実施をしました。 市内全域で実施のリフレッシュ体操スクールでの告知、メールマガジン等での情報発信を行いました。 プログラム指導者によるエクササイズ動画の配信を行いました。	◎	◎	○	○	◎	○		
	総合体育館	体育協会加盟団体、スポーツ少年団、プロスポーツチーム等のスポーツ関係団体をはじめ、福祉関係団体や大学機関等、あらゆるネットワークを活用した効果的な事業を展開し、集客、利用者の増加につながる取組が行われているか。 また、近隣スポーツ施設(味の素スタジアム等)や文化施設等との連携や取組事例(施設の管理運営や実施プログラム等)を参考にするなど、施設の有効活用に繋げているか。	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	体育協会加盟団体、スポーツ少年団、プロスポーツチームとの連携を密に行いました。 新型コロナウイルス感染症対策の情報共有、体育室工事期間中には、近隣の福祉センターでプログラム事業を実施しました。	◎	◎	○	◎	◎	○		
	総合体育館	事業展開に、経験を有する者や競技経験者を配置しているか。また、障害の有無に関わらず、施設を安心して利用できるよう、専門知識や経験を有する職員・スタッフを配置しているか。	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	各指導者、施設管理スタッフは、事前の資格証の提出により有資格の確認をしています。体育協会職員は、それぞれの職員が資格取得のため講習会を受講しました。	○	○	○	◎	○	○		
総合体育館	防犯対策(特に盗難対策)について、利用者の安全確保のための効果的な対策が講じられているか	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	安全管理体制の強化、危機発生への対応、防犯対策、熱中症予防、防災への対応について、日々注視した中で管理運営を行っています。	○	○	○	◎	◎	○			

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている, ○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状において評価できる点・課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
指定管理業務に関する収支の状況	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での利用料金収入等の確保や支出の抑制についての取組（工夫・見直し等）が行われているか(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果 指定期間における取組実績	明確な目標管理、実施事業の分析、様々なコスト削減のアイデアを出し合い施設管理、事業実施をしました。	○	○	△	◎	◎	○	<p><評価できる点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金の獲得に向け積極的に取り組んでいる。引き続き、様々な団体等による助成金及び補助金制度に関する情報収集を幅広く行い、資金獲得に努めていただきたい。 <p><課題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、利用料金収入が大幅に減少し、指定管理料の増額（公費負担）で対応する状況が続いている。外部環境の変化に伴う収入確保対策は課題と考える。 ・コスト削減について具体的な対策の有無がわからない。今後、水道光熱費の高騰が見込まれる中で、高騰分をいかに公費負担させないかについては課題。 ・複数年度にわたる継続事業を計画するなど柔軟な発想による事業計画や施設修繕計画等を考えるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策について、市担当部署との情報共有及び連携を深めた取組、広報、活動により市民に安心感を与えることで、利用者増につながると考える。 ・利用者数回復に対する工程管理、受益者負担の関係整理、水道光熱費の高騰に対する目標管理の実施、コスト調査結果の時点更新などにより、経営状況の改善が期待される。 ・寄附金やクラウドファンディングにより自主財源を獲得し、先駆的なプログラムの開発・実施や設備・備品の購入等に当てられないか検討いただきたい。 ・指定管理期間延長に伴う大きなメリットのひとつは、新たな投資や計画的な修繕が可能になることであるので、それに基づく大胆な対策が望ましい。また、公共施設としての目的がある以上、利用料金収入は限定的であるため、目標の置き方については検討の余地あり。
	共通	補助金の獲得など、自主財源の確保に努めているか。また、それを事業展開につなげているか	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	スポーツ事業継続支援補助金、ジュニア育成地域推進事業等の補助金を活用しました。	○	○	○	○	○	○		
安定した運営が可能となる人的能力及び体制	共通	施設の管理に、人員が適切に配置されているか	管理に関する基本協定書	調布市総合体育館指定管理業務仕様書に基づき配置をしました。	○	○	○	◎	○	○	<p><評価できる点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度調査結果において職員・スタッフの態度・対応力が高評価を得ている。 <p><課題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関する技術指導やコーチング力向上とともに、施設管理者としての知識・技能向上及び接遇関係・人権尊重に関わる実践力向上等も求められている。今後ともより高いレベルを求めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必須となる資格・スキル・研修の明示を含んだ人材育成計画を策定・提示し、安定した体制づくりに取り組まれているということを可視化していただきたい。 ・職員全員の勤務に対する誇りややりがいを持ち続ける取組や話し合いが大切になってくる。いわゆる縦割り社会にならないように、一人一人が全体に関わっているとの意識を持てる組織を期待する。 ・引き続き利用者に好感を持ってもらえるよう努力を続けてほしい。アイデア・意見・助言と笑顔があふれる体育館を期待する。
	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での施設の管理・運営や事業実施に関する職員のスキル向上（研修の実施や人事評価の実施状況等）に向けた取組が行われているか(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	講師を招いての研修会実施のほか、施設管理に必要な資格取得、法人運営に必要なスキルなど、様々な研修会等に積極的に参加しました。	△	○	○	○	○	○		
	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での職員間における専門的な知識やノウハウの継承への取組が行われているか(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	体育施設の管理運営面、市民スポーツの振興、スポーツを通じた健康づくり等の分野で、職員のスキルアップを図っている。事業等の企画立案から実施、そして評価といったマネジメント能力の強化に加え、公益法人に勤める者としての高い倫理観と責任感を醸成する分野など、様々な研修科目や講習会を受講する機会の拡充に努めました。	○	○	○	○	○	○	△	

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状において評価できる点・課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
施設の維持管理 の内容及び手法	共通	修繕や点検等を適切に実施するほか、施設・設備の不具合等の早期発見、早期対応ができているか。併せて、指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、中長期的な視点での施設の維持保全についての取組が市と連携しながら適切に行われているか。(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	施設を可能な限り利用制限をしないかたちでの修繕対応を計画的に行っている。長年培ったノウハウを最大限生かしながら、安全性、快適性が確保できるよう、中長期的な修繕計画について調布市に提案しています。	○	△	○	△	◎	○	<p><評価できる点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館開設から30年以上経過した施設であるが、これまで培ってきた経験を基に、市への適時適切な情報提供や修繕計画の提案など丁寧な対応を図っている。 ・修繕費については、10年間の計画収支上5.4百万円となっている一方、直近年度の修繕費はそれを上回る規模である。安全面の視点からは、事業計画や予算に縛られずに運営できていることは評価すべき対応と考える。 <p><課題点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年12月に突如プールが臨時休止するに至ったことについて、改めて中長期的な維持保全の在り方を市側と協議し、必要な体制と予算措置を作っていたきたい。 ・令和3年度修繕のうち、計画外が89%となっており、修繕費の予算策定プロセスや算定基準について、市側と改めて協議していただく必要がある。 ・施設の改善に関する要望全てに対して早期に対応することは難しいと考えられるが、市と相談して今後の対応等の回答を該当者だけでなく、市報、ホームページ、施設への掲示などによって全利用者に伝えることが大切と考える。 ・消火器、AEDだけでなく施設内で使用する装備・器具の緊急時及び安全な使用方法について、より実践的な訓練を継続していただきたい。 <p>・施設設備及び指導法等が原因となった事故が各地の体育館で発生している。日本スポーツ振興センターのデータの活用やスポーツ事故に詳しい弁護士等からの学びを深めることで安心安全なスポーツ環境を提供できると考える。理論面での研修も重要であるが、実際の事故から具体的な安全策や防止策を学ぶ機会を考えるとほしい。</p>	
	共通	利用者の安全対策を含む、緊急時（事故・災害・感染症）の対応策が十分検討され、マニュアルや連絡体制が整備されているか。また、定期的に訓練を実施しているか。訓練の結果、改善したものはあるか。これらの取組について、職員のみならず、関係スタッフも含めた対応が図られているか。	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	事故発生時、火災、地震、盗難、レジオネラ症患者、新型インフルエンザ、新型コロナウイルス、吸い込まれる事故、貴重品ロッカー鍵紛失、嘔吐・便失禁等の対応マニュアルを整備しました。	○	◎	○	◎	◎	◎		
	共通	消火器やAED等の非常用装備について、定期的に整備及び点検がされているか。また、職員で取り扱えるよう訓練の実施やマニュアル等は整備されているか。これらの取組について、職員のみならず、関係スタッフも含めた対応が図られているか。	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	消火器を含め、消防関係法令で定める消防設備は専門業者による点検を実施している。AED設備等は休館日毎に動作確認を実施。年度当初のスタッフ全体会後に、放送設備、消火栓、消火器等の実施訓練を実施しました。	◎	○	○	○	○	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状において評価できる点・課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
市との連携や市における施策推進への貢献	共通	災害時における市や地域等との協力体制の構築等に関する取組が行われているか	モニタリング評価結果 災害時における調布市との基本協定書	災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定書を締結（令和3年度）しました。 災害ボランティアセンター設置に向け意見交換等を開始しました。	○	◎	○	○	◎	○	<評価できる点> ・市と、災害ボランティアセンター設置時の事前意見交換等災害時協力協定の締結をするなど積極的に取り組んでいる。 <課題点> ・F C東京との連携については、調布市の様々な部署が関与していることが窺えるが、体育協会が実施する総合体育館の利用に関する事業に限ると、バレーボール大会における参加賞の授与にとどまっていることから、今後、総合体育館を活用した取組を進める必要がある。 ・災害時の利用に関する覚書に記載されている各条項を具体的に示し、全職員がその内容を共有することが重要。 ・調布市基本計画及び調布市スポーツ推進計画との擦り合わせ、進捗状況等の確認などを課題として、生活文化スポーツ部等関係部署との定期的な協議を継続することが求められる。	・災害時における対応について、引き続き、事業の企画運営や施設管理者としての経験を生かし市への提言や訓練実施などの協力をしていただきたい。また、災害時協定を踏まえた、体制整備やマニュアル策定等を早期に実現していただきたい。 ・サッカークラブのホームタウンであるという他団体が得られない大きな機会を生かした取組に期待。 ・調布市体育協会が調布市及び調布市民に対して貢献している姿を積極的に示し、身近で重要な組織であることを一層認識してもらえよう見える化に努めていただきたい。 ・市内にあるトップチーム、プロチームへの応援が一方通行になることなく、相手側にも体育協会が支えてくれているということを認識してもらえようような働きかけを強化することも大切。 ・スポーツに関する施策における連携はもちろんのこと、健康問題、高齢問題、共生社会の充実という様々な問題に関連して取組を進めていただきたい。
	共通	施設の貸出や各事業の実施等において、市への協力や市との連携に関する取組が行われているか	総合体育館事業報告書	選挙や調布市主催事業等への施設開放を行っている。実施事業内容によっては、共催・協力として連携している。調布市障害者余暇活動支援事業への会場提供等を行いました。	○	◎	○	◎	○	○		
	共通	施設の管理運営や各事業の実施を通じて、市と基本計画における関連施策の推進に貢献できているか(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	スポーツ環境の整備、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進について、それぞれの項目について事業を実施しました。	◎	◎	△	◎	◎	○		
その他	共通	個人情報の保護及び情報漏洩防止のための体制は適切か	モニタリング評価結果	規定の整備並びに研修会等を実施しました。	○	○	○	◎	○	○	<課題点> ・ハッキングによる個人情報漏洩やサービス停止という被害等への対策は、業務を守るだけでなく利用市民を守る面からも常に最新の対策を課題として意識する必要があります。職員の知識及び意識の向上も継続課題。 ・個人情報保護については、改正個人情報保護法（2022年4月施行）に基づき、適切な管理に努めて頂きたい。また、定期的な研修実施など職員への周知啓発を図っていただきたい。	・個人情報、省エネルギーは、多様性や感染症対策同様今後も継続して取り組むべき大きな課題と考えられる。常に高い意識を全職員が持ち続けると同時に、これらの大切さや取組み方を市民に対して発信していく組織としての活動を求める。 ・体育館が中核となってコミュニティができていくと面白いモデルになると思う。
	共通	地域等との連携による取組や地域貢献活動の実施内容は適切か(★)	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	地域コミュニティプログラムとして、清掃活動等を実施しました。	○	○	○	○	○	△		
	共通	省エネルギー、省資源等の環境へ配慮した取組が確保されているか	総合体育館事業報告書 モニタリング評価結果	全スタッフが節水や節電を常に心がけ、光熱水料費等の削減に取り組み、ロビー・ラウンジの照明を安全な範囲で消灯、事務室内の開引き等を行いました。	○	○	○	◎	○	○		

◎評価結果(評価員からの主な意見)を踏まえた市における課題整理 ※今後のサービス向上等に向けての指定管理者との調整における視点
 ・地域共生社会・多様性社会の視点を踏まえた、施設管理及び多様なプログラムの継続的な検討・実施
 ・利用者・プログラム参加者の意見の把握・分析、類似施設等の事例研究に基づくサービスの向上と利用定着に向けた取組の推進
 ・東京2020大会会場及び国際的なスポーツ施設の設置市としての利点を生かすことと併せて、市内のプロチーム・選手と連携した、スポーツに親しむ機会を創出する取組の推進
 ・総合体育館を中心とした地域の交流拠点の創出
 ・創意工夫によるあらゆる収入確保策及びコスト縮減策の検討・実施
 ・組織の強化・安定性確保を踏まえた計画的な人材育成の取組強化
 ・市との協議による中長期的な維持保全の在り方の再検討及び利用者の安全・安心の確保
 ・調布市基本計画及び調布市スポーツ推進計画における関連施策の継続的な推進・市との協議に加え、健康、高齢福祉、障害福祉、教育などの視点での市との連携